

東久留米市検討部会 会議録

1. 会議名 第9回東久留米市第二次緑の基本計画中間見直し検討部会
2. 日時 平成29年11月24日(金) 午前10時00分から午前12時15分
3. 場所 東久留米市役所3階 議会会議室
4. 出席委員氏名(敬称略) 杉原弘恭(会長)、水戸部啓一(副部会長)、
下村央行、高橋喜代治、大塚ちか子、田中潤子、
菅谷輝美、草刈秀紀、古澤毅彦、武内浩司(以上10名)
5. 欠席委員氏名(敬称略) 豊福正己(以上1名)
6. 事務局職員名 小泉環境政策課長、小平計画調整係長、
齊藤計画調査係主事
7. コンサルタント会社(アジア航測株式会社) 深見幹朗、藤原真太郎
8. 傍聴人 0名
9. 次第
 - (1) (報告) 環境シンポジウムについて(参考資料2)
 - (2) (報告) 全体スケジュールについて(参考資料1)
 - (3) (議題1) 第8回会議記録の確認(資料1)
 - (4) (議題2) 素案の検討(資料2、資料2-1)
 - ①東京都意見照会結果について(資料3)
 - ②コラム・写真・表紙項目等の検討(資料2-1、資料4、資料5)
 - ③主な生物種(観察種・代表種)について(資料6)
 - (5) (その他)

<配布資料>

- 資料1 第8回検討部会記録(案)
- 資料2 第二次緑の基本計画・生物多様性地域戦略(素案)
- 資料2-1 第二次緑の基本計画・生物多様性地域戦略(素案)資料編
- 資料3 東京都意見照会結果と事務局見解
- 資料4 関連用語解説案
- 資料5 掲載コラムについて
- 資料6 主な生物種(観察種・代表種)の案

<参考資料>

- 参考資料1 東久留米市第二次緑の基本計画中間見直しスケジュール(案)
- 参考資料2 環境シンポジウムアンケート集計

10. 第9回東久留米市第二次緑の基本計画中間見直し検討部会

- ・出欠席者の報告 出席 10 名 欠席 1 名 定足数に達しており会議は成立
- ・傍聴者について 本日は傍聴者はなし

(1) (報告) 環境シンポジウムについて(参考資料2)

【事務局】

- ・先週末(11月19日)に開催した環境シンポジウムについて、報告する。
- ・104名の来場があり、41名から来場者カード(アンケート)を回収できた。
- ・アンケートによると、市内の参加者が市外の参加者よりも多かった。また、知人・友人の紹介でシンポジウムを知ったという参加者が多かった。
- ・マイクの音響がよくなかった、大人の発表者もリハーサルが必要との意見があった。

【部会長】

- ・小学生から大人まで、多世代が参加したシンポジウムであった。

【委員】

- ・スクリーンが見づらかったことが課題として挙げられる。

【副部会長】

- ・開催場所としてホールとプラザの両方が使えるとよかった。
- ・PRが弱かったと感じている。ホームページで環境シンポジウムの案内を見つけることができなかった。
- ・知人や友人の案内で来場された方が多かった。子どもを巻き込んだイベントにしたことで来場者が増えたと言える。

【事務局】

- ・ 次回のシンポジウムは、ホールとプラザの両方を確保して実施したい。発表の順番も大人を先にして子どもを後にすれば、より多くの方が最後まで残っていただけるかもしれない。

(2) (報告) 全体スケジュールについて (参考資料 1)

【事務局】

- ・ 全体スケジュールについて説明する。
- ・ 前回までの会議の議論を踏まえ、本編と完成している資料編で東京都に意見照会を行った。
- ・ 本日の会議ではその意見への対応と、資料編・コラム等の確認・検討を行っていただきたい。
- ・ 本日の会議を踏まえ、環境審議会に報告を行う。
- ・ その後、本編を中心として 12 月中にパブリックコメントを行う。
- ・ 資料編、コラム、写真、主な指標種については検討部会を 12 月中に追加開催するので引き続き検討をお願いしたい。

(3) (議題 1) 第 8 回会議記録の確認 (資料 1)

【事務局】

- ・ 第 8 回検討部会の会議録の確認をお願いしたい。
- ・ 議事録の送付が遅くなったため、本日、議事録をご確認いただき、修正等があれば、その内容を反映して会議録として確定する。

(4) (議題 2) 素案の検討 (資料 2、資料 2-1)

① 東京都意見照会結果について

【部会長】

- ・ 「① 東京都意見照会結果について (資料 3)」について、事務局より説明をお願いする。

【事務局】

- ・ 前回までの会議を踏まえた案で、東京都への意見照会を行った。
- ・ 頂いた意見と事務局の対応案は資料 3 に示すとおりである。主な指摘事項は「緑の大切さ」や「緑の機能」、「生物多様性の扱い」についてであった。これらについては、次のとおり回答したいと考えている。
- ・ 「緑の大切さ」や「緑の機能」については、緑に都市環境の調整機能や延焼防止効果、洪水防止効果等があることを記載するとともに、市民アンケートの結果も引用していることを説明する。

- ・「生物多様性」については、東久留米市の特徴を踏まえて記載をしている旨と、国の定義をそのまま引用して記載するのではなく、市民に分かりやすいように、なるべく平易な文章にしていることを説明する。

【委員】

- ・東京都から指摘のあった「草地」についてであるが、「草地の生きものの生息・生育場所」について言及されており、六仙公園では、昆虫の生息場を残した管理を行っているので、その旨を記載してはどうか。

【事務局】

- ・六仙公園以外にも生きものの取り組みをしている公園があるので、六仙公園とともに例示して説明する。

【委員】

- ・資料3 p4 で指摘されている「洪水を防止する機能」について、用語編に記載する予定の「生態系サービス」でも説明を記載することで、本編との整合がとれる。

②コラム・写真・表紙項目等の検討

【部会長】

- ・「コラム・写真・表紙項目等の検討」について事務局より説明をお願いする。

【事務局】

- ・前回会議の後、関連用語解説案（資料4）を部会長に作成していただいた。
- ・資料編はアジア航測が整理・更新した。
- ・関連用語集と資料編・コラムの記載内容には重複事項もあるため、合わせて検討していただきたい。おおよその整理の方向は次のとおりとしている。
- ・一般的な用語解説は「関連用語集」に入れる。
- ・資料編は計画の根拠データとなるものを記載する。
- ・東久留米市の独自の話題はコラムとする。
- ・生きものの生息環境については、コラム「3. 東久留米市の生きもの（動植物）について」と「8. 多摩川から続く川の道を辿って来た植物について」また、資料編との住み分けも必要となる。これは、前回会議での委員の意見とも関連する。
- ・本編については、第2章について見直しを図り、記載の整理を行った。文言の重複をさけるため、課題と方向性をわけずに統合して記載している。
- ・また、本編 p6 「4 東久留米市の水と緑の施策のあゆみ」は「2 これまでの主な取り組み」の直後に掲載するほうがよいと考えている。

【部 会 長】

- ・コラムや用語以外の本文について先に議論する。

【副 部 会 長】

- ・本編 p5 の「東久留米市内の水と緑と主な生きものの分布図」について、緑と水の分布を示すことが最も重要である。地図をもっと大きくはっきりと掲載して、東久留米市の水と緑と生きものについて一目でわかる図面にするとよい。

【部 会 長】

- ・「水辺（河川）」、「樹林地」等の特徴的な環境を赤線で囲って図示しているが、p22「水と緑の将来像のイメージ」図の「18 の拠点」と表現が異なり混乱を招くので、区域の図示は不要である。

【副 部 会 長】

- ・代表的な公園などの地名は、テキストボックスで表示すると目立ちすぎるので、図内に直接書き込む方がよい。あくまでも、水と緑が中心の表現にすること。
- ・生産緑地地区は緑に該当するので、凡例は褐色ではなく緑系統の色にした方がよい。
- ・資料編の緑被分布図を背景図にした方がよい。

【委 員】

- ・市民が親しみやすい図にするため、生きものの写真をもっと掲載したい。特に鳥類の写真が少ないと感じる。

【委 員】

- ・図面に掲載する生きものの写真は、標本写真ではなく生きている写真を使うとよい。

【委 員】

- ・市内の「水の分布」を示すため、図面に湧水の地点も重ねて表示するとよい。

【部 会 長】

- ・「東久留米市内の水と緑と主な生きものの分布図」は、見開き 2 ページで掲載することとし、背景は緑被分布図にして、図面の中に地点名や生きものの写真を配置すること。

【委 員】

- ・p4 の約 2,000 種という記載について、選定約 2,000 種の結果を得た調査の、対象生物群など、この種数算定の根拠をもっと具体的に記載した方がよい。

【副 部 会 長】

- ・漢数字で「二千種」と記載して、曖昧な表現にすることも考えられる。
- ・その他の箇所もそうだが、本編の記載をもっと市民にわかりやすい表現にした方がよい。「市内の鳥類確認種は〇〇であった…」など、教科書的な表現が多く、全体的に読んでいてかたい印象を受ける。柔らかい表現に直すこと。

- ・資料編は本編のバックデータなので、資料編では詳細な記載で構わない。

【部 会 長】

- ・東久留米市には環境副読本がないので、緑の基本計画などを市内の小中学校に配布して教材として利用してもらうことも想定できる。なるべく平易な表現にすることが望ましい。

【委 員】

- ・p22「水と緑の将来像のイメージ」図について、18の拠点の特徴をわかりやすく一枚で示した拡大図があるとよい。

【副 部 会 長】

- ・18の拠点の拡大図は、他の啓発活動と併せて作成した方がよい。

【事 務 局】

- ・18の拠点の拡大図の作成には、別途、いろいろな検討が必要になる。別の機会ですっかり検討することとしたい。

【委 員】

- ・p4「3 水と緑と生きものの現況」の「縁崖林」に関する記載について、縁崖林が他の樹林と環境が異なるものだという点を、わかりやすく明記した方がよい。縁崖林が昔から残っている貴重な環境であることを記載するとよい。資料2では、武蔵野の緑と縁崖林の説明が混在してしまっている。

【副 部 会 長】

- ・東久留米の緑は色々な種類があるが、特殊なものとして「縁崖林」がある、と整理できるとよい。

【(部 会 長)】

- ・この件の修文は、提案委員にお願いしたい。

【委 員】

- ・承知した。）

【委 員】

- ・記述が「生物多様性戦略」と「生物多様性地域戦略」が混在しているので、用語を統一する方がよい。

【部 会 長】

- ・本計画内では、「生物多様性戦略」で統一している。事務局は再度、記載を確認すること。

【委 員】

- ・p62「東久留米市緑の基本計画の推進体制」について、「国・都・近隣市・関係団体」を具体的に記載した方が分かりやすい。

【事 務 局】

- ・具体的に記載することで対象が限定されることを避けるため、あえて簡潔な書

きぶりとしている。

【部 会 長】

- ・コラムや用語の議論についてであるが、本計画は小中学生の補助教材としての活用も想定しているため、本文に掲載されている用語だけでなく、基礎的な用語や関連する制度についても用語集に整理している。
- ・土地の履歴に関するコラム「東久留米の土地の履歴」を追加している。
- ・今後、用語集には対応する本編のページ番号を追記していく。
- ・資料編やコラム、用語集はパブリックコメントに提示しないので、編集の時間はまだある。追記すべき用語や説明文について、意見を頂きたい。

【副 部 会 長】

- ・コラム「東久留米の土地の履歴」は、本編の第 2 章に掲載したい内容である。
- ・本編 p15「コラム 2 水と緑に係る市民活動について」は、活動内容を列記しているだけであるが、活動の成果についても具体的に読み物として記載してはどうか。どのような市民がどのような活動を行って、どのような成果を挙げたのか、活動に参加していない人にもイメージできるようなコラムが望ましい。「コラム みんながこのまちの生きもの係」に記載されているような内容がよいのではないか。

【委 員】

- ・市民活動については、どこに行けば活動の情報が得られるかも得られるか記されるとよい。

【事 務 局】

- ・市民活動の紹介としては、くるくるチャンネルの紹介などが考えられる。

【委 員】

- ・計画の中で、1970 年代の取り組みが抜けているように感じる。年表のようなもので過去からの経緯を整理はしないのか。

【事 務 局】

- ・過去からの経緯については、コラム的に記載してはどうかと考えている。

【部 会 長】

- ・「東久留米市の緑に関する条例」が制定されたのは昭和 47 年である。制定当時の公害についての考え方なども記載するとよい。

【事 務 局】

- ・当時の資料を見つけることは困難である。

【副 部 会 長】

- ・過去からの経緯については、p2 の冒頭に記載してはどうか。高度経済成長に伴って宅地や残存樹林が減少していた中で、条例を制定して緑の基本計画がつく

られたという経緯について、2～3行でまとめられるとよい。

【部 会 長】

- ・冒頭文については、副部会長に作文をお願いしたい。事務局も緑の機能について補足すること。

【副 部 会 長】

- ・承知した。資料2の文章はやや表現がかたいので、併せて修文したい。）

【部 会 長】

- ・資料編に掲載されているアンケート調査結果は、各設問と属性情報のクロス集計結果だが、設問間のクロス集計はできないか。

【事 務 局】

- ・そのようなデータのつくりこみはしておらず、難しい。

【委 員】

- ・p91～92の主な確認種や重要種については、どのような基準で選定したのか。

【事 務 局】

- ・平成28年に実施した生きもの調査の結果から抜粋したものである。基準として、レッドデータブックに基づいている。地域の特徴を踏まえて、これらよりも掲載すべき選定方法があればご提案いただきたい。

【委 員】

- ・「重要種」ではなく「希少種」のほうがよい。重要種と記載すると、東久留米市にとって重要な種になるが、何をもって「重要」と判断するかは、十分な議論が必要である。東京都のレッドリストの標題は「東京都の保護上重要な野生生物種」と限定されている。

【副 部 会 長】

- ・言葉は重要である。十分に吟味したうえで使うこと。

【委 員】

- ・資料編の鳥類リストについて、凡例や色分けの説明が不足しているので追記すること。

③主な生物種（観察種・代表種）について

【事 務 局】

- ・観察種（毎年）について、選定漏れや除外する種、追加すべき種等について、再度の確認をお願いしたい。
- ・水辺の昆虫が多く、全体のバランスがよくないので、調整できないか。

【委 員】

- ・「人の生活に隣接した場所」という表現は、定義が曖昧ではないか。

【部 会 長】

- ・この定義には公園や街路樹も含まれるということによいか。

【委 員】

- ・「人の生活に隣接した場所」という表現は、『「水辺と樹林」以外の場所』という意図で提案した。

【部 会 長】

- ・提案の意図を承知した。脚注などで、わかりやすく補足できるとよい。

【委 員】

- ・ホンセイインコは属名で、ワカケホンセイインコがホンセイインコ属の一種なので、ワカケホンセイインコに統一すること。

【委 員】

- ・資料6の選定種の表に間違いが多数みられる。改めて指摘するので修正すること。

【委 員】

- ・選定種の表に外来生物と在来種が混在しているので分かりやすく整理した方がよい。指標種は、在来種も外来種もありえるが、表では違いが分かりにくい。

【部 会 長】

- ・資料6に掲載されている外来種については、行を追加してそれとわかるようにすること。
- ・種の選定に関する意見は、メールで事務局まで連絡してほしい。

(5) その他（今後の予定について）

【事 務 局】

- ・次回の検討部会は12月22日（金）の予定である。
- ・パブリックコメントを12月の中旬に予定しているため、各自、資料を改めて確認いただき、12月7日までに修正事項を事務局宛に連絡をいただきたい。

(6) 閉会

【部 会 長】

- ・これで本日予定されていたすべての議題が終了した。
- ・第9回東久留米市第二次緑の基本計画中間見直し検討部会を終了する。

以上